

## 第8章 教育研究等環境

## (1) 現状の説明

点検評価項目①：学生の学習や教員による教育研究活動に関して、環境や条件を整備するための方針を明示しているか。

## 【評価の視点】

1：大学の理念・目的、各学部・研究科の目的等を踏まえた教育研究等環境に関する方針の適切な明示

- 1) 大学として、「教育研究等環境の整備に関する方針」を定め、ホームページに掲載している。本学の理念・目的を実現でき、国際的研究・教育・臨床拠点にふさわしいキャンパス環境整備に向けて施設充実を図るとともに、地球温暖化等の環境悪化に配慮し、施設設備の適切な維持管理と有効活用を推進していくことを基本方針としている。「大学キャンパス・ホスピタル再編事業」、「施設・設備の維持管理」、「教育研究環境の整備」、「ICT 教育研究基盤整備」の項目について、それぞれ方針をまとめている。

(大総務2-1 法人ホームページ 「各種方針」)

## 《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

- 1) 大学キャンパス・ホスピタル再編事業については、以下の方針を明示している。

・創立 175 周年記念事業として「大学キャンパス・ホスピタル再編事業」を推進し、各キャンパス・附属病院群の施設・設備の再整備と拡充を図り、全学に亘る教育・研究・臨床活動の更なる向上を目指します。  
 ・新たに建設する建物は、「100 年建築」、「他の範となる病院建築」、「エコロジー建物」を基本コンセプトとし、先進的なエコロジー技術を導入したエコキャンパス・エコホスピタルを実現し、安全・快適・安らぎのある癒しの空間を創出する環境整備を行います。

- 2) 再編事業は、建物の解体を伴うため、施設内の機能を他の建物へ移転させ（原形質流動）、病院の稼働率維持と教育研究活動の継続性を確保するように努めている。また、同事業により、本学の財務構成が悪化しないよう、事業原資は手元資金で賄うこととしている。
- 3) 本郷・お茶の水キャンパスにおいて、キャンパス機能・病院機能の再編を進めており、医学部附属順天堂医院 2 号館の建替え及び大学本部、大学院や医学部教学部門のセンチュリータワーへの集約が完了した。現在、国際的な研究・教育拠点となる新研究棟（A 棟）の建設を進めている。

## 《施設・設備の維持・管理について》

- 1) 施設・設備の維持・管理については、以下の方針を明示している。

学生や教職員等にとって安全・安心で利用しやすい施設・設備を整備し、適切に維持管理を行うことにより教育研究環境を向上させることを基本方針とします。

1. 建物の基本性能として、キャンパス内建物の構造耐震化はすべて完了していることから、今後は、防災機能などの性能向上を図ります。震災時の被害軽減のため家具の固定を進め、天井等の非構造部材についても、耐震性能を調査し、必要に応じて対処していきます。
2. 学生数の増加、研究の高度化・多様化に対応する教育研究施設の整備を行います。
  - ・本郷・お茶の水キャンパスでは、研究棟の再整備に着手しています。
  - ・さくらキャンパスでは、学生寮を増築整備し、共同生活で得られるコミュニケーションや協調性、他学部との交流を強化していきます。また、体操競技場や陸上競技場などの整備を充実させ、グローバルに活躍する人材を育成する環境・設備を整えていきます。
3. 日常の維持管理は、外部委託を活用し、専門性の高い設備運転、保守点検等により、快適な学習、研究、医療環境を提供するとともに防災機能の維持、事業継続計画の強化・見直し及び省エネルギー

## 第8章 教育研究等環境

- ギーの推進を目指します。
4. 地球温暖化対策として、CO<sub>2</sub>排出量管理、フロン管理、廃棄物管理など地球環境負荷低減への取り組みを継続します。
  5. キャンパス内の階段や段差個所には、スロープやリフトを設置し、教室においても車椅子の学生が受講出来るようにバリアフリー化を継続的に推進します。

### 《教育研究環境及び ICT 教育研究基盤整備について》

1) 教育研究等環境の整備については、以下の方針を明示している。

- ・高い教育効果が得られ、学生が主体的に学修を進められるよう ICT 環境及びグループワークエリアを整備します。
- ・国際的研究・教育拠点として、先端的かつ学際的な異分野融合型の研究を推進し、学術の進展や社会と産業界の要望に柔軟に対応できるよう、本郷・お茶の水キャンパスに新研究棟を建設し、最先端の教育研究機器を導入します。
- ・SA・TA・RA を拡充するとともに知財担当や URA 等の研究支援要員も適切に配置し、教育研究支援体制を整備します。
- ・研究倫理遵守に関する教育・研修を行うとともに各種規程に基づき研究費の適正な執行と管理を行う体制を整備します。

2) ICT 教育研究基盤整備については、以下の方針を明示している。

- ・ICT を活用した授業を展開するとともに、双方向授業によるアクティブ・ラーニングを推進するために情報基盤整備を行います。
- ・無線 LAN 接続環境を整備するとともに、キャンパス間ネットワークの充実を図り、ネットワーク環境を整備します。
- ・情報セキュリティを整備し、情報の保全及び管理を行います。

3) ICT 化教育研究基盤整備に関する方針として「順天堂大学 ICT 化戦略」を定めている。グローバルな視点から積極的に社会にかかわり、世界的な研究・教育・臨床拠点として、次世代をリードする諸活動を展開するために基盤整備を行っていく。

(大情 8-1 順天堂大学 ICT 化戦略)

### 《各学部・研究科における教育研究等環境整備に関する方針について》

1) 各学部・研究科では、教育・研究上の特性を考慮し、それぞれが教育研究環境整備に関する方針を定めている。

(大総務 8-1 各学部・研究科の教育研究等環境整備方針)

**点検評価項目②：教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地及び校舎を有し、かつ運動場等の教育研究に必要な施設・設備を整備しているか。**

#### 【評価の視点】

- 1：施設・設備等の整備・管理
  - ・情報通信技術 (ICT) 等機器・備品等の整備
  - ・施設・設備等の維持・管理、安全・衛生の確保
  - ・バリアフリーへの対応や利用者の快適性に配慮したキャンパス環境整備
  - ・学生の自主的な学習を促進するための環境整備
- 2：教職員及び学生の情報倫理の確立に関する取り組み

## 第8章 教育研究等環境

## 《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

- 1) 法人本部に大学キャンパス・ホスピタル再編事業事務局を置き、各地区の中長期教育研究環境整備計画案の実行を組織的に支援している。キャンパス周辺の土地・建物等の取得の必要性の精査及び取得手続きを支援している。
- 2) 2011年に新病院（B棟）着手以降、「原形質流動」を基本方針として、再編事業期間中に購入したセンチュリータワー、御茶の水センタービル等のサテライト建物を利用して、「ビルド&スクラップ」させながら診療・教育・研究機能のActivityを低下させることなく、マスタースケジュールに沿って、新築・改修工事を進めている。2011(平成23)～2017(平成29)年度の不動産取得の実績は下表の通りである。(単位：㎡)

年度	土地面積	建物延べ面積
2011(平成23)年度	2,287.02	7,897.78
2012(平成24)年度	11,090.49	7,594.70
2013(平成25)年度	11,467.11	5,892.90
2014(平成26)年度	2,166.98	2,625.37
2015(平成27)年度	449.74	1,069.06
2016(平成28)年度	1,106.16	1,278.03
2017(平成29)年度	1,471.29	5,979.12
7年間合計	30,0038.79	32,336.96

- 3) 順天堂医院（本院）については、世界に誇れる時代をリードするエコホスピタルの新築工事（下表）が完了し、供用開始している。引き続き、2017年3月から約2年間で1号館外来・病棟部分の整備工事に着手している。

B棟（免震建物）	高層棟 2013（平成25）年 12月竣工 低層棟 2016（平成28）年 4月竣工
C棟	2016（平成28）年 8月竣工
D棟	2014（平成26）年 5月竣工
連絡通路	B棟-1号館上空通路 B棟Ⅱ期-9号館間の上空通路 C棟・D棟間の連絡通路（地上・地下） 1号館-C棟間接続通路（13箇所）
レスポワール湯島寮	2015（平成27）年 7月竣工

- 4) B棟は、日本の建築環境総合性能評価システム（CASBEE）評価で最高位のSランク基準で建築した。また、米国の建築環境性能評価システム（LEED）において、病院では国内初のゴールド認証を獲得した。更に、2017(平成29)年度には、空気調和・衛生工学会賞（技術賞 建築設備部門）を受賞した。
- 5) 本郷・お茶の水キャンパスの教学部門の主な整備状況は以下の通りである。
- ・2012(平成24)年度～2013(平成25)年度にセンチュリータワーへ教学部門、法人部門、サーバーの機能移転を行うための整備工事を実施し、日本医学教育歴史館をセンチュリータワー17階へ設置し開館した。

## 第8章 教育研究等環境

- ・国際教養学部開設に伴い、新規に取得した建物を第2教育棟（仮称）として2015（平成27）年3月に整備完了した。
  - ・2016（平成28）年度からの大学院医学研究科定員増に対応するため、2015（平成27）年8月、160名を収容できるよう既存教室の拡張工事を行った。
- 6) 新研究棟の整備状況については、7号館・8号館の教育・研究機能移転が完了して、その跡地を解体して、Ⅰ期工事（2018（平成30）年12月竣工予定）に着手した。Ⅰ期完成後、9号館機能を移転後に9号館を解体し、明治期に建設された順天堂医院の歴史的ファサードを再現するⅡ期工事（2020（平成32）年7月竣工予定）を予定している。
- 7) 他キャンパスの主な整備状況は以下の通りである。
- ・2013（平成25）年度 さくらキャンパスのグラウンド人工芝化、水泳プールの屋内化工事
  - ・2014（平成26）年度 さくらキャンパスの陸上競技場トラックの改修工事
  - ・2015（平成27）年度 浦安キャンパスの校舎増築工事
  - ・2016（平成28）年度 さくらキャンパスの女子寮、体操競技場（OGAWA GYMNASTICS ARENA）新築
- 8) 分院の主な整備状況は以下の通りである。
- ・2016（平成28）年度 高齢者医療センター増床に伴う改修工事
  - ・2017（平成29）年度 浦安病院増床に伴う新築工事

### 〈大学設置基準上必要な校地・校舎について〉

- 1) 大学全体の校地については、現状、大学設置基準上の必要校地 71,684 m<sup>2</sup>に対し、保有校地 294,357 m<sup>2</sup>と基準の4.11倍の面積を確保している。また、校舎についても同基準上必要校舎 78,568 m<sup>2</sup>に対し、92,871 m<sup>2</sup>保有しており基準の1.18倍の面積を確保しており、どちらも大学設置基準で求められている面積を上回っている。

### 〈施設・設備の維持・管理について〉

- 1) 防災機能の維持については日常的な管理に加え、年2回の消防設備点検を実施しており、検出された軽易な不具合は速やかに修繕している。また、震災被害軽減のため、転倒のおそれがある家具の固定を進めている。大学中枢施設であるセンチュリータワーは独特の構造を有することから、加圧防排煙システムをはじめとした特殊な防災設備を備えており、その性能維持のための大規模改修が必要となったため、防災設備大規模改修工事に着手し2019年（平成31）度半ばに完了する予定である。
- 2) 建築基準法、消防法等による建築、設備に関する法定点検・報告はもとより日常的な保守点検による故障の回避、安全の確保に努めている。空気環境測定、飲料水水質検査等、基礎的な環境衛生測定を行うことにより環境維持に努めている。
- 3) 各キャンパスの施設・設備の維持・管理・運営は、本郷・お茶の水キャンパスは施設部門、その他キャンパスは各事務部門が責任部署となっており、専門性が高い施設・設備の維持管理及び清掃、廃棄物の処理等の業務は外部委託している。責任部署が日々の精度管理を行うとともに、委託業種毎に業務評価委員会を開催し、業務の適切性について毎月検証している。
- 4) 「省エネルギー法」に基づき、CO<sub>2</sub>の排出量を管理する省エネルギー推進委員会を設置し、省エネルギー推進活動に取り組んでいる。本郷・お茶の水キャンパスは東京都の「総量削減義務と排出量取引制度」の適用を受けており、削減目標達成に向け設備投資計画を含む地球温暖化対策計画書を作成している。照明のLED化、動力・熱源機器の高効率化などハード面の



## 第8章 教育研究等環境

対策を進めるとともに、全学的に教職員の省エネ啓蒙に努めている。

- 5) 浦安キャンパス、三島キャンパスにおいて食堂施設の不足がみられるため、転用又は増築により施設の充実を図る予定である。

### 《教育研究環境及び ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) 2017（平成 29）年度に整備した防災機能等強化は次のとおりである。新研究棟の防災機能強化のための耐震工事を行った。

#### (1) 防災機能等強化

① 順天堂大学キャンパス・ホスピタル再編事業（仮称）新研究棟建設

- 2) 2017（平成 29）年度に私立大学研究ブランディング事業において整備した大型の研究装置及び研究設備は次の通りである。各プロジェクトの遂行に必要な研究装置・研究設備を整備し、効果的に活用できるよう体制を構築した。

#### (1) 大学院医学研究科老人性疾患病態・治療研究センター

① マルチアングルライブイメージングシステム Lightsheet Z.1

#### (2) 大学院医学研究科難病の診断と治療研究センター

① クラスタマシン（ゲノム情報解析用高性能コンピュータ）

#### (3) 大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康医科学研究所

① 日立 MR イメージング装置

② ミトコンドリア酸素活性・細胞代謝計測セット Oxygraph-2k/LEDmodule

③ 汎用超音波画像診断装置 Aixplorer 一式

#### (4) スポーツロジセンター

① 多用途筋機能評価運動装置

（大研戦 8-1 平成 29 年度 教育・研究装置及び教育基盤・研究設備一覧）

- 3) 本郷・お茶の水キャンパスのセンチュリータワー南棟 11 階には「Juntendo Medical & Technology Simulation Center」があり、学生・医療従事者のスキルや多職種間でのチーム医療のトレーニングを通して、医療の質と患者安全を向上させている。同センターには、血管治療シミュレータ 2 台、腹腔鏡シミュレータ 2 台、子宮鏡シミュレータ 1 台、成人用患者シミュレータ、幼児用患者シミュレータ等を整備している。

- 4) 2015（平成 27）年 5 月、さくらキャンパスの陸上競技場の全面改修工事が完了し、国際陸上競技連盟（IAAF）が定める国際基準「class1」を満たし、国際大会にも対応可能な最高ランクの陸上競技場となった。

- 5) 2017（平成 29）年 1 月、さくらキャンパスの新女子学生寮（8 階建）新築工事が完了し、約 240 名を収容することが可能になった。

- 6) 2017（平成 29）年 3 月、さくらキャンパスの体操競技場の新築工事が完了した。

- 7) 本郷・お茶の水キャンパスでは、センチュリータワーを中心として大教室、中教室、小教室に AV 設備を完備している。その他、マルチメディア教室、形態系実習室、ラーニング・コモンズを設置している。各キャンパス相互に遠隔講義が実施できる遠隔講義システムを導入しており、資料配布システムの導入、センチュリータワー及び 10 号館の全館無線化によるモバイル対応、Gmail 導入によるクラウド活用を積極的に行っている。2017（平成 29）年度は、形態系実習室において学生増員対応（PC・顕微鏡環境を 145 台に増設）及び機器老朽化に伴う機器更新を実施した。

## 第8章 教育研究等環境

- 8) さくらキャンパスでは、大教室、中教室に AV 設備を完備している。マルチメディア教室を設置している。キャンパス間遠隔講義システムを導入している。
- 9) 浦安キャンパスでは、大教室、中教室、実習室に AV 設備を完備している。マルチメディア教室を設置し Call システムを導入している。キャンパス間遠隔講義システムや授業収録と連携したレスポンスアナライザーを導入している。
- 10) 三島キャンパスでは、大教室、中教室、実習室に AV 設備を完備している。マルチメディア教室を設置している。キャンパス間遠隔講義システムを導入している。2017(平成 29)年度は、マルチメディア教室、ラーニングコモン、図書館、ラウンジに設置の PC(163 台)の更新を実施した。

### 《各学部・研究科における教育研究環境整備状況》

#### 〈0〉 大学全体

- 1) 各学部・研究科では、教育・研究上の特性を考慮し、十分な施設・設備を整備している。ラーニング・コモンズや ICT 環境の整備、自習室の運用上の配慮等、キャンパス・アメニティを高める各種取組みを行っている。

(大総務 8-2 各学部・研究科の教育研究等環境整備概要)

- 2) 2017(平成 29)年度、マイクロソフト包括ライセンス契約 (EES) を締結し最新の Windows、Office を教職員、学生が利用できるように環境整備を行った。
- 3) 2017(平成 29)年度、インターネット回線を 100Mbps から 1Gbps にアップグレードし、高速ネットワークを整え、センチュリータワーの老朽化した学内 LAN ネットワーク機器を更新した。

### 《情報倫理の確立に関する取り組み》

- 1) 個人情報保護法により、個人情報の安全保護が求められていることから、関連規約を整備している。また、情報技術面 (匿名化、暗号化) からの防衛策を展開している。公共性を有する大学として、情報に関する取扱い・管理を適正に行い、本学の信用を守り、社会からの一層の信頼を得るよう努めている。

(大情 8-2 情報倫理ガイドライン)

(大情 8-3 学校法人順天堂情報セキュリティポリシー)

(大情 8-4 学校法人順天堂個人情報保護に関する基本方針)

(大情 8-5 学校法人順天堂個人情報保護管理規程)

(大情 8-6 情報システム利用に伴う危機対応マニュアル)

(大情 8-7 順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス学術ネットワーク運営内規)

(大情 8-8 順天堂大学ソーシャルメディア利用ガイドライン)

**点検評価項目③：図書館、学術情報サービスを提供するための体制を備えているか。また、それらは適切に機能しているか。**

#### 【評価の視点】

1：図書資料の整備と図書利用環境の整備

- ・ 図書、学術雑誌、電子情報等の学術情報資料の整備
- ・ 国立情報学研究所が提供する学術コンテンツや他図書館とのネットワークの整備
- ・ 学術情報へのアクセスに関する対応

## 第8章 教育研究等環境

・学生の学習に配慮した図書館利用環境（座席数、開館時間等）の整備

## 2：図書館、学術情報サービスを提供するための専門的な知識を有する者の配置

- 1) 学術メディアセンターは、本郷・お茶の水キャンパス（以下、本郷）、さくらキャンパス（以下、さくら）、浦安キャンパス（以下、浦安）、三島キャンパス（以下、三島）に設置されており、4館から成る。図書や雑誌の所蔵確認や貸出返却等のサービス業務は、4館でネットワークを配し一括運用している。資料の貸出返却等は、それぞれのキャンパスから可能である。
  - （大学メ8-1 本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター利用案内）
  - （大学メ8-2 さくらキャンパス学術メディアセンター利用案内）
  - （大学メ8-3 浦安キャンパス学術メディアセンター利用案内）
  - （大学メ8-4 三島キャンパス学術メディアセンター利用案内）
- 2) 本学医学部附属病院には、静岡病院、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、練馬病院に図書室を置いている。本郷を中心に支援を行っており、学術メディアセンターのウェブサイトを経由して学術情報を入手可能である。
- 3) 電子ジャーナルや電子ブックの整備に力を入れており、冊子は電子化が進んでいない図書や和雑誌に限って購入している。電子ジャーナルは本郷で契約しており、可能な限り4キャンパス・附属病院から利用できる契約としている。
- 4) 各学術メディアセンターには運営委員会を置き、事項決定や雑誌・図書等の選定にあたっている。図書選定は、授業等の活用と予習復習ができるよう整備している。電子ジャーナル購読は、定期的なアンケート調査・利用・価格・学術的な評価を考慮して整備している。経費の95%以上を電子資料が占め、毎年10%程値上がりしているが、日本医学図書館協会と大学図書館コンソーシアム連合による共同購入方式を活用し、適正価格での購読を図っている。
- 5) 4キャンパスの図書数は289,539冊で、本郷以外はすべて開架式書架としている。182,197冊（全体の62.9%）が開架である。定期刊行物（雑誌）は全学的に冊子から電子ジャーナルへの移行を進めており、さくら・浦安・三島で冊数が減少している。全学で閲覧可能な電子ジャーナルは、31,028種類である。
  - （大学基礎データ表1）
  - （大学基礎データ表18）
- 6) 4キャンパスで年間3,000冊以上の、必要な図書を随時受け入れている。本郷は国際教養学部の基本図書を積極的に受け入れたため、ここ数年の受け入れ数は増加している。
  - （大学基礎データ表18）
- 7) 学術メディアセンターの規模・設備等は、本郷が平成27年度（2015年度）に有山記念館からセンチュリータワー9階に移転して以来、変更はない。複写機や利用者用閲覧端末は、必要に応じて設置している。
  - （大学基礎データ表1）
  - （大学基礎データ表18）
- (1) 本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター
  - ①センチュリータワー9階にあり、閲覧室、利用者用端末、新着雑誌、図書及び事務室が配置している。センター内の窓際には、個人用机を設置している。
  - ②入・退館システムを設置している。センチュリータワー内に無線LANが設置しており、利用者が持参する端末でネットワークを利用できるよう整備されている。

## 第8章 教育研究等環境

## (2) さくらキャンパス学術メディアセンター

①3階建ての独立棟で、1階には、書庫、グループ・ルーム、事務室がある。2階には新着雑誌、視聴覚資料、参考書、辞書類、一般図書と閲覧席、受付カウンター、ラーニング・コモンズ、事務室がある。3階には学生図書、専門図書、閲覧席を設置している。

②入口には持ち出し防犯ゲートシステムを設置している。センター内に無線LANを設置し、利用者持参のPCが利用できる環境を整備している。

## (3) 浦安キャンパス学術メディアセンター

①正門脇校舎1・2階部分にあり、1階には一般教養図書、新着雑誌、視聴覚資料、閲覧スペース、PC用席、視聴覚室及び事務室、2階には専門図書、製本雑誌、閲覧スペース及びPC用席を設置している。入口には持出防犯ゲートシステムを設置している。

②看護学生が臨地実習で利用している順天堂医院、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、練馬病院には実習用図書を設置している。

## (4) 三島キャンパス学術メディアセンター

①校舎2階にあり、入口付近にカウンターと事務室、奥に雑誌架・書架・移動書架がある。書架の傍らに学習用机、閲覧用椅子を設置している。

②センター内には、利用者用PCを22台設置しており、うち2台が蔵書検索専用である。校舎全体に無線LANを設置し、利用者が持参するPCを利用できる他、館内で利用できるノートPCの貸出も行っている。

③災害時、学生の安否確認のために在室を示すホワイトボードを設置している。

8) 各館に司書を配置し、利用者サービスに努めている。利用状況は、電子資料の普及等により来館者数が漸減している一方で、資料貸出冊数は浦安を除いて増加傾向にある。

(大学基礎データ表 19)

9) 開館時間は、講義開始前や終業後にも利用できるよう、各館の利用状況にあわせた開館時間を設定している。全館で土曜日にも開館しており、本郷では大学休日となる第二土曜日(8:30-17:00)と日曜日(13:00-17:00)も開館している。

(大学基礎データ表 19)

10) 閲覧室の座席数は、学生の収容定員に応じた席数を整備している。収容定員に対する座席数の割合は、大学全体で13.3%である。座席数は三島で微増した以外は、現状維持である。

(大学基礎データ表 20)

11) 「学術メディアセンター利用カード」を配布し、各キャンパス共通で利用可能である。

12) 電子媒体の学術情報(電子ジャーナル、電子ブック、データベース、文献管理ソフト等)は、学術メディアセンターのウェブサイトからアクセスできるよう整備している。冊子資料は、蔵書検索により4館の所蔵を一括して検索可能である。

13) 文献複写サービスは、附属病院や卒業生の依頼も受け付けている。国立情報学研究所(NII)のNACSIS-ILLに参加し、未所蔵文献の入手とともに、電子ジャーナルの所蔵登録を進め他機関への提供にも努めている。4キャンパス全体では、依頼が減少傾向、受付が増加傾向である。ただし今後は、国際教養学部の卒業研究支援等で、依頼件数が増加する見込みである。

(大学基礎データ表 19)

14) 明治大学中央図書館、文京区の5医学図書館(東京大学・東京医科歯科大学・日本医科大学・



## 第8章 教育研究等環境

文京学院大学・順天堂大学)との相互協力協定により、相互に情報サービスを提供している。  
15)本郷では、2011(平成 23)年より学術機関リポジトリを構築し、学位論文の本文及び要旨をインターネット上に公開している。

**点検評価項目④：教育研究を支援する環境や条件を適切に整備し、教育研究活動の促進を図っているか。**

## 【評価の視点】

## 1：研究活動を促進させるための条件の整備

- ・大学としての研究に対する基本的な考え方の明示
- ・研究費の適切な支給
- ・外部資金獲得のための支援
- ・研究室の整備、研究時間の確保、研究専念期間の保障等
- ・ティーチング・アシスタント (TA)、リサーチ・アシスタント (RA) 等の教育研究の活性化を支援する体制

1) 「大学としての研究に対する基本的な考え方を、次のとおり策定している。

研究においては、国内外から卓越した研究者が集い成長していくことのできる学術研究環境を拡充し、世界的水準での魅力ある研究や新しい学問分野・融合研究の発展及び創成を促進する。

(大研戦 8-2 大学としての研究に対する基本的な考え方)

2) 申請に基づき審査を経て交付される学内公募型の研究費として 2001 (平成 13) 年度から学長特別共同プロジェクト研究費を交付している。本研究費は、学部・研究科間の学際的な共同研究を促進することを目指しており、研究組織には必ず他学部・他研究科の教員を含むように条件を課している。また研究代表者の職位により審査区分を分け、前任准教授・准教授・講師を対象とした区分を A 枠、助教・助手・ポストドクター・大学院生を対象とした区分を B 枠とし、公平な競争が行われるよう一定の配慮を行っている。なお、女性研究者については申請資格を緩和し、教授職の身分を持つ者でも研究代表者として申請可能とするなど一定の配慮を行っている。申請、採択状況は次のとおりである。

区分	2017 (平成 29) 年度		
	申請数	採択数	配分金額
A 枠	12 件	3 件	2,800 千円
B 枠	20 件	11 件	12,200 千円
合計	32 件	14 件	15,000 千円

3) 全学的な視点から教育の内容及び体制の改善等の教育改革に取り組む優れたプロジェクトを支援するために、2013 (平成 25) 年度に学長教育改善プロジェクト費を新設した。本プロジェクトの予算は学長裁量経費として別枠で確保し、2017(平成 29)年度は、学内公募により集めた 4 件の提案のなかから、優れた授業改善効果が期待される 3 件の提案を採択した。

(大 I R 6-1 平成 29 年度 学長教育改善プロジェクトの募集について)

4) 臨床研究の支援を行い、附属 6 病院 GCP センターとの連携を深めるため、臨床研究・治験センターを設置している。生物統計専門家、データマネージャー、CRC (Clinical Research Coordinator) などの人員を擁して、教育研修、臨床研究の支援、統計解析、データ管理、モ

## 第8章 教育研究等環境

ニタリング及び監査の管理などを行っている。教育研修においては、学部・大学院での講義を通じて生物統計に関する教育を行うと共に、臨床研究に携わる医師・コメディカル・看護師に対する統計的コンサルティングを行っている。また、学内外の研究者、研究支援者、倫理委員会委員を対象とした臨床研究に関する研修会、講演会を開催している。なお、2018（平成30）年1月1日付で組織変更を行い、「順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究支援センター管理運営規程」は、「順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究・治験センター管理運営規程」へと改定された。「順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程」についても、2018年（平成30年）1月1日付で改定されており、新体制にて臨床研究の推進・支援を行っている。また、医療法に基づく臨床研究中核病院申請対応の為、2018年（平成30年）4月1日付で施行予定の「臨床研究法」（平成29年法律第16号）に準拠する体制構築が求められており、2018年（平成30年）1月1日付で「順天堂大学特定臨床研究監査委員会規程」を制定している。更に、医学部附属順天堂医院に2018年（平成30年）1月1日付で「順天堂大学医学部附属順天堂医院における特定臨床研究等に関する病院長の業務に関する規程」、「順天堂大学医学部附属順天堂医院特定臨床研究管理・評価委員会規程」を制定し、臨床研究中核病院の体制要件に備えている。

（大革新8-1 順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究・治験センター管理運営規程）

（大革新8-2 順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程）

（大革新8-3 順天堂大学特定臨床研究監査委員会規程）

（大革新8-4 順天堂大学医学部附属順天堂医院における特定臨床研究等に関する病院長の業務に関する規程）

（大革新8-5 順天堂大学医学部附属順天堂医院特定臨床研究管理・評価委員会規程）

- 5) 医学研究科には、特定の専門分野に特化し、高度な教育と研究の機能を有する附属研究所として、アトピー疾患研究センター（1998（平成10）年開設）、老人性疾患病態・治療研究センター（2000（平成12）年開設）、環境医学研究所（2002（平成14）年開設）、感染制御科学研究センター（2003（平成15）年開設）、スポーツ健康医科学研究所（2006（平成18）年）、スポーツロジックセンター（2007（平成19）年開設）、先導的がん医療開発研究センター（2013（平成25）年開設）、ゲノム・再生医療センター（2013（平成25）年開設）、女性スポーツ研究センター（2014（平成26）年）、静岡災害医学研究センター（2015（平成27）年開設）、難病の診断と治療研究センター（2016（平成28）年開設）の11の研究センター・研究所が設置されている。各研究センターには専任の教員を配属し、教員と共同して研究プロジェクトを推進するポストドクターや教員の指示のもとに研究を補助するリサーチ・アシスタントの受け入れを積極的に行っている。

（大総務3-2 平成29年度 事業報告書 「3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター」）

- 6) 先端的教育・研究の支援活動を行う学内共同利用施設として、疾患モデル研究センター（1998（平成10）年開設）、研究基盤センター（2003（平成15）年開設）の2つの研究支援センターが設置されている。疾患モデル研究センターは、医学研究及び医学教育に欠かせない動物実験を行う施設として整備され、動物の種類に応じ特定飼育区画・特定網室の拡散防止措置を設けるなど適切な管理体制が敷かれている。研究基盤センターは、研究支援機能を持った中核施設として位置付け、異分野の研究者が協力し、幅広い視野にたった目的・目標を立て学

## 第8章 教育研究等環境

際的なテーマで学問・研究を発展させていく場となるよう、また多様な研究分野に対する支援と研究成果を社会へ還元する発信基地として整備されている。

(大研戦8-3 順天堂大学動物実験等管理規則)

(大研戦8-4 研究施設の概要 2017)

7)各学部・研究科では、教育・研究上の特性を考慮し、研究費配分に留まらず、学部・研究科独自のプロジェクト研究等の各種取り組みを行っている。また、授業時間割及び定例会議開催日時を配慮し、研究に専念できる時間を確保できるようにしている。

(大総務8-3 各学部・研究科の教育研究等を支援する取り組み)

8)研究室については、原則として、教授には個人研究室を、准教授以下の教員には共同研究室を整備している。全学を挙げて分野融合型の共同研究を推進するため、共同研究施設である各研究センター・研究所を設置している。

9)本学は、大学院研究科に在籍する学生のうち成績優秀な者を、本学の学部学生や修士課程の学生に対する授業等におけるティーチング・アシスタントとして雇用している。この制度は、授業の質の向上、将来の大学教員の養成及び大学院生の経済的支援の3つの観点から設けられたものである。2017(平成29)年度は43人を任用している。

(大研戦8-5 順天堂大学ティーチング・アシスタントに関する規程)

10)年俸制職員としてリサーチ・アドミニストレーター4名を雇用し、研究者に対する研究支援を通して研究者が研究に専念できる環境の実現を目指している。なお、本学では順天堂大学リサーチ・アドミニストレーターのアルファベット頭文字からJURAと略称している。

(大研戦8-6 大学・大学院ホームページ「研究活動」「研究戦略推進センター」  
「URA」)

**点検評価項目⑤：研究倫理を遵守するための必要な措置を講じ、適切に対応しているか。**

**【評価の視点】**

1：研究倫理、研究活動の不正防止に関する取り組み

- ・規程の整備
- ・コンプライアンス教育及び研究倫理教育の定期的な実施
- ・研究倫理に関する学内審査機関の整備

1)本学は、学術研究活動を行う上で研究者として守るべき行動の基準を明らかにし、自律的な行動を促すため「順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範」を制定している。学生を含むすべての研究者に対し、この規程において自らの主体的な判断に基づく研究活動は、社会からの信頼と負託を前提として初めて社会的認知を得ることを理解させ、科学技術の発展には社会との対話が不可欠であるとし研究者に科学と社会との健全な関係構築を促している。

(大研戦8-7 順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範)

2)「順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範」において示された倫理的基準を逸脱した行為が研究者に認められた場合、大学として取るべき手続きと再発防止への取り組みを定めた規程として、「順天堂大学における学術研究活動に係る不正行為の防止等に関する規程」を制定している。

(大研戦8-8 順天堂大学における学術研究活動に係る不正行為の防止等に関する規程)

## 第8章 教育研究等環境

- 3) 本学では研究者に利益相反の開示・報告を義務付け、利益相反マネジメント委員会により検討・審議を行う体制を構築している。なお、人を対象とする医学研究の実施時には、研究者に個人の収益等の当該研究に係る利益相反について自己申告を義務付け、医学系研究利益相反マネジメント委員会の審査を受けることを要する「順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程」を制定している。

(大研戦8-9 順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程)

- 4) 人を対象とする医学系研究については、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号。以下「本指針」という。)により求められている医学系研究の実施のため「人を対象とする医学系研究に関する倫理規程」を2015(平成27)年4月1日付けで制定し、当該規程に関連するモニタリング・監査の手順書等を整備している。

(大研戦8-10 人を対象とする医学系研究に関する倫理規程)

- 5) 臨床研究においては、被験者の福利に対する配慮が科学的及び社会的利益よりも優先されなければならないことから、国が定めた倫理指針に基づき研究機関の倫理審査委員会が研究計画の適否について判断しなければならない。本学では、医学部・医学研究科に「順天堂大学医学部研究等倫理要綱」、「順天堂大学医学部研究等倫理要綱実施規程」、スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科に「順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱」、「順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱実施規程」、「順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱」、「順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱実施規程」、医療看護学部・保健看護学部・医療看護学研究科に「順天堂大学看護系大学院研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程」、医学部附属病院に「順天堂大学医学部附属病院倫理委員会内規」を定め、各部門で倫理委員会を開催し事前審査を行うことにより、倫理的妥当性や安全性を確保している。医学部・医学研究科の外部委員は5名、スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科の外部委員は2名、医療看護学部・医療看護学研究科の外部委員は1名・学部外委員2名(浦安病院教授・保健看護学部准教授)、保健看護学部の学外委員は1名・学部外委員1名(静岡病院教授)である。

(大研戦8-11 順天堂大学医学部研究等倫理要綱)

(大研戦8-12 順天堂大学医学部研究等倫理要綱実施規程)

(大研戦8-13 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱)

(大研戦8-14 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱実施規程)

(大研戦8-15 順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱)

(大研戦8-16 順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱実施規程)

(大研戦8-17 順天堂大学看護系大学院研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程)

(大研戦8-18 順天堂大学医学部附属病院倫理委員会内規)

- 6) 競争的資金等の運営・管理に関わる全ての構成員に、自らのどのような行為が不正に当たるのかを理解させるため、コンプライアンス教育(機関の不正対策に関する方針及びルール等)を実施することが文部科学省「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」で求められている。これを受けて本学では2015(平成27)年4月1日付けで「順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領」を制定した。倫理研修は年1回又は数回実施し、



## 第8章 教育研究等環境

ガイドラインにおいて推奨されている e-learning による倫理教育プログラム (CITI Japan Program) を導入し、競争的資金等の運営・管理に関わる全ての構成員に対し受講を義務としている。

(大研戦 8-19 順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領)

7) 医学部・医学研究科では、研究ノート等の活用により、研究・調査データを記録保存するとともにデータの厳正な取扱いを徹底し、不正行為 (ねつ造・改ざん・盗用等) の防止に努めている。

8) 各学部・研究科では、研究倫理も含め、倫理教育について、計 26 の授業科目を開講している。

(大総務 8-4 各学部・研究科における倫理に関する科目一覧)

9) 医学研究科では、「順天堂大学大学院医学研究科・研究ガイドライン」も整備し、大学院における研究倫理の普及・啓発を図っている。

(大院医 8-1 順天堂大学大学院医学研究科・研究ガイドライン)

**点検評価項目⑥：教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

## 【評価の視点】

- |                         |
|-------------------------|
| 1：適切な根拠（資料、情報）に基づく点検・評価 |
| 2：点検・評価結果に基づく改善・向上      |

## 《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

1) 同再編事業の有効性や適切性は、理事長を議長とする再編事業推進会議（毎月 1、2 回開催）により検証が行われている。また、理事長を議長とする大学運営連絡協議会にて、事業の進捗にあわせて検証が行われている。学内広報誌「順天堂だより」や「事業報告書」等においても、進捗状況が報告されている。

(大総務 3-2 平成 29 年度 事業報告書 「21. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について」)

## 《施設・設備の維持管理について》

1) 施設・設備の増減に対応する維持管理方針と必要な保守契約について毎年見直しを行い、これに基づく施設・設備維持管理業務委託仕様書を作成している。

2) 業務委託による施設・設備の維持管理状況については日々の報告(日報)により精度管理をしている。

3) 施設の破損、設備の故障については発生の都度、速やかに修理する体制が整っている。

## 《教育研究環境及び ICT 教育研究基盤整備について》

1) 大型機器導入後の利用状況については、研究基盤センター室長等会議で報告されている。冊子「研究施設の概要」に取りまとめ、関係者に配付するとともに、学内ホームページにも掲載している。

2) URA による研究支援業務は、支援実績を取りまとめ研究戦略推進センター長（学長）へ報告されている。

3) 適正な研究遂行のために、「順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領」を制定し、倫理教育プログラム(CITI JAPAN プログラム)を導入した。研究に従事する教職員の履修状況を確認

## 第8章 教育研究等環境

している。

- 4) 軽井沢研究戦略会議において、研究戦略室長を中心に URA、研究戦略推進センターが本学の研究力について分析し、今後の研究力強化に向けて検討を行っている。研究環境に関しては引き続き上記 1) により点検、評価していくことを確認した。

(大研戦 8-20 研究環境の点検・評価)

- 5) URA による研究推進対策 PDCA の一環として、学内競争的資金(学長特別共同プロジェクト研究費)の過去 8 年間の採択者の研究成果を追跡し、その効果と課題が前学長(現学長特別補佐)に報告されている。その報告では、本研究推進対策が学外の研究費の呼び水として効果があったことを示した一方、同学内競争的資金のコンセプトのひとつ(異分野共同研究の推進)には明確な効果がなく、本資金制度の見直しが検討されている。

(大研戦 8-21 学長プロ研の波及効果概要(2010-2017))

- 6) 情報センター本部コアメンバー会議及び寄付講座「電子医療情報管理学講座」にて、附属病院の臨床データ収集環境整備の為、JIN-CDB 準備委員会の立ち上げを行った。

(大情 8-9 第 56 回 情報センター本部コアメンバー会議(平成 30 年 3 月))

### 《各学部・研究科における教育研究等環境》

- 1) 教育・研究用機器の購入にあたっては、講座等から申請された機器について、教務委員会、研究委員会等で審査・選定を行い、教授会における審議・報告、学部長決裁等を経て、購入している。教育研究環境の適切性は「学生生活実態調査」等における学生からの意見・要望を参考にして、学生部委員会等で検証している。

(大総務 8-5 各学部・研究科における教育研究等環境の点検・評価)

## (2) 長所・特色

### 《大学キャンパス・ホスピタル再編事業について》

- 1) 大学キャンパス・ホスピタル再編事業は、2017(平成 29)年度で 10 年を経過したが、当初方針の通り原資を手元資金で賄うことにより、財務状況に影響を与えることなく順調に推移している。本郷・お茶の水キャンパスにおいては、1 号館・4 号館・B 棟・C 棟・D 棟を「病院ゾーン」、10 号館・新研究棟(A 棟)を「研究・実習ゾーン」、センチュリータワー・第 2 教育棟(仮称)を「法人本部・教育ゾーン」に位置づけ、計画通り整備事業が行われており、延床面積は、昭和 62 年の本館(1 号館)建設前に比し、2017(平成 29)年度には、約 3 倍となった。

今後、本郷・お茶の水キャンパスでは、新研究棟(A 棟)の建設並びに B 棟、C 棟完成後の病院機能の移転・再編に伴う 1 号館外来部門・病棟部門の再編のための改修工事を実施している。

(大再編 8-1 本郷・お茶の水キャンパス再編事業構想図)

(大再編 8-2 本郷・お茶の水キャンパス延床面積の推移)

### 《施設・設備の維持管理について》

- 1) 積極的な省エネ投資計画を実施中であり、単位床面積当たりのエネルギー使用量=CO<sub>2</sub>排出量は減少している。

省エネを更に推進するために、PDCA サイクルに基づく検証を行っている。細部にわたる実施検証データを基に計画の再検討を行い、投資効果の最適化を図る。また、照明の LED 化、熱源の高効率化、動力のインバーター制御化などハード面の省エネ投資を継続するとともに、

## 第8章 教育研究等環境

使用者への啓蒙を進める。

(大施設8-1 設備投資によるエネルギー使用合理化計画)

(大施設8-2 エネルギーの使用に係る原単位の推移)

- 2) 大学キャンパス・ホスピタル再編事業により本郷・お茶の水キャンパスの大学用途建物群における主要建物の耐震化は完了した。ただし、外部から購入取得した中小建物の一部に旧耐震建物が存在し、更新計画が具体化するまでの間、これらを暫定的に研究室等として使用しているため、部分的に震災リスクを抱えた状態にある。

今後は、非構造部材の耐震化が一部の建物について必要であるため計画的な実施を目指す。

(大施設8-3 平成30年度私立学校校舎等実態調査票)

### 《教育研究環境及び ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) 競争的資金の獲得戦略の立案、補助金の申請書作成、研究成果の広報等の業務を研究者と連携して行う URA の採用により、研究者の研究活動時間の確保と科学研究費助成事業をはじめとした公的研究費等の外部資金の獲得に効果を発揮している。本学の研究力が強化されてきた背景には、学長のリーダーシップによる全学的な研究支援組織の整備が挙げられる。2017(平成29)年度健康総合科学先端研究機構を整備し、文部科学省私立大学研究ブランディング事業の2プロジェクトの推進のために同機構に URA を配置し、URA による事業体制を整備した。また、法人として継続した基礎的・基盤的研究への財政支援と人的支援を挙げることができる。財政支援においては、公募型の学長特別共同プロジェクト研究、部門ごとのプロジェクト研究の推進が、科研費等競争的研究資金の獲得増につながっている。人的支援としては研究支援人材として、URA4名(H25年2名、H27年1名、H29年1名を採用)を採用したことに加え、大学院附置研究センター・研究所に優秀な若手人材としてポストドクターを雇用し、更に研究補助者を採用し、研究基盤の強化を図ってきた。

今後も、URA 人材を中心に研究支援力を強化し、教育・研究・医療分野における次世代の担い手なる研究者輩出を可能とする研究支援体制の整備を図る。

- 2) 臨床研究・治験センターでは、臨床研究推進のために CRC、データマネージャー、生物統計家、研究事務局等の人員を擁し、データ集積管理システム REDCap を運用して、臨床研究支援体制を整備している。

臨床研究・治験センターで支援している既存の大規模多施設共同臨床研究については、研究会等の開催、ニュースレターの発行により研究登録状況等を報告し、症例登録を促した結果、ほぼ目標に近い症例が登録され、追跡データの集積が進んでいる。集積済みのデータに関しては、引き続き統計的解析等を行い、更なる学会・論文発表を支援していく。新たに支援を開始した多施設共同臨床研究でも同様に研究会等の開催、ニュースレターの発行により共同研究への参加、研究対象者の登録を促している。

(大革新8-6 臨床研究・治験センター運営委員会資料2018年2月臨床試験支援室)

- 3) 2015(平成27)年10月7日、センチュリータワー南棟11階に医療スキルや多職種間でのチーム医療のトレーニングを目的とする「Juntendo Medical & Technology Simulation Center」を開所した。

「Juntendo Medical & Technology Simulation Center」では、協力覚書を締結したロシアのカザン連邦大学、理化学研究所、本学の3機関でシミュレーション機器ソフトや教育プログラムの共同開発を進めることとしており、本学の学生、医学部附属6病院の医療スタッフ

## 第8章 教育研究等環境

にシミュレーショントレーニングの機会を提供している。

- 4) 「順天堂大学 ICT 化戦略」に沿って、2009（平成 21）年度取得のセンチュリータワーを本郷・お茶の水キャンパスにおける教学部門の拠点として ICT 教育研究基盤を整備した。本年度まで遠隔講義システムを継続して整備し、5 学部 6 附属病院が海外へ向けて教育・研究・医療の情報発信が行える環境となった。この積極的な取り組みにより、学内外・国内外へ向けた教育・研究・医療の情報交流及び発信の機会が増えている。また教職員及び学生の情報交流促進のためポータルサイトであるポートフォリオシステムを 2012（平成 24）年にさくらキャンパス及び浦安キャンパス、2014 年（平成 26）年に本郷・お茶の水キャンパス、2016 年（平成 28）年に三島キャンパスへ導入を行い教職員・学生間の連携が促進、窓口対応負荷も軽減・業務効率化に繋がっている。

遠隔システムの臨床現場への適用を積極的に図っており、手術室やカンファレンス室から国内外の教育・研究機関に最先端医療を発信する環境を活用していく。2017（平成 29）年度には日中医学交流フォーラムとして順天堂医院から手術のライブ中継を中国の南京鼓楼医院、北京協和医院、上海復旦大学附属中山医院や中国全国各地への配信を行った。ポートフォリオシステムについては、全学展開が完了し、更なる教職員業務効率化を図っていく。

（大情 8-10 順天堂遠隔会議実施実績）

（大情 8-11 ポータルサイト・ポートフォリオシステム実績）

### （3）問題点

#### 《施設・設備の維持・管理について》

- 1) 障がいの有無にかかわらず、等しく学び、充実した学生生活を送ることができる環境を整備していく必要がある。

バリアフリーへの対応として、車いす対応の動線整備、トイレ環境の充実、バリアフリーマップの整備公表などを今後進めていく。

#### 《教育研究環境及び ICT 教育研究基盤整備について》

- 1) 臨床研究・治験センターの臨床研究支援体制では、医療法に基づく臨床研究中核病院申請の為、生物統計家とデータマネージャーの人員拡充を図り、臨床研究中核病院の人員要件を満たす人員が確保できた。しかし、人員要件ぎりぎりの人数であり、退職リスク、支援対象研究の増加に対応し、臨床研究中核病院認定後の体制維持のためには、更なる拡充が必要である。また、REDCap システムは本郷・お茶の水キャンパス内の研究者しかアクセスできず、多施設共同研究支援を行うには不十分である。

今後は、臨床研究・治験センターの臨床研究の支援体制のうち、生物統計家とデータマネージャーの人員拡充を図り、臨床研究中核病院体制認定後の支援体制維持に資する。また、REDCap システムについては、多施設共同研究に対応できるよう、大阪市立大学と連携して整備を進めていく。

（大革新 8-7 臨床研究支中核病院人員要件対応状況平成 30 年 3 月 31 日現在）

- 2) 過去 10 年間の集計の結果、学長特別共同プロジェクト研究費の採択をきっかけに科研費に採択された例が 20 件、大学院在籍時に学長特別共同プロジェクト研究費に採択された研究者が科研費採択につながった例が 6 件あり、学長特別共同プロジェクト研究費の採択が科研費につながる一定の効果が認められた。反面、学長特別共同プロジェクト研究費の研究組織



## 第8章 教育研究等環境

に基づき採択された科研費や共著となっている論文等は少なく、学部・講座間の垣根を超えた枠組みによる明確な効果が表れていない。

今後、外部資金獲得のため、新たな制度への転換を含めて検討を進めていきたい。

- 3) 教職員による ICT 機器のより一層の活用が課題である。一例として、紙資料ベースの講義形態が多く、モバイル、ペーパーレス対応として導入した資料配布システムの活用がまだ十分に進んでおらず、デジタルコンテンツ活用が不十分である。

教職員による ICT 利活用については、大学の講義環境のモバイル化、ペーパーレス化を図り、デジタルコンテンツを活用するため、既存の資料配布システム等の教職員による利活用を標語作成などの広報活動によって推進していく。まずは、毎月開催の医学部教授会での利用を開始した。また、教員・学生間で課題の作成、出題、回収までのワークフローを Web で実施できるシステムについても活用を推進する。広報活動を実施し、国際教養学部での活用について教務課と協議中である。国際教養学部での活用を経て他学部へも利用を広げて行くことを検討している。

(大情 8-12 医学部教授会資料ダウンロード手順書)

- 4) 附属病院の臨床の画像・映像及びデータについて、学生教育への活用に向けた基盤整備が必要である。

2015(平成 27)年 5 月の医療情報システム更新にあわせて、BI ツールの導入を行い病院に蓄積された臨床データの多角的な分析、リアルタイムなデータ集計・報告実施ができる環境構築を行った。更なる情報利活用のため BI ツールサーバ上に統合データベース JIN-CDB の構築を進める。

(大情 8-13 JIN-CDB 構築)

### (4) 全体まとめ

大学キャンパス・ホスピタル再編事業は、順調に進捗している。大学の校地・校舎面積は大学設置基準を満たし、建物の耐震化も進んでいる。「順天堂大学 ICT 化戦略」に基づき ICT 化教育基盤整備を進めており、図書館、学術情報サービスの充実が図られ、学生・教員の利便性は向上している。

文部科学省補助金を活用して、最先端の装置・設備を導入しており、持続的に教育研究成果を生み出せるよう環境を整えている。URA 等の研究支援専門職を配し、研究者が研究に専念できる体制を整備している。TA や RA を雇用するなど、教育研究支援体制の整備も進めている。各種プロジェクト研究が公募され、共同研究を推奨する仕組みが出来ている。研究倫理に関する各種規程が整備され、学内審査が適切に運営されている。

「大学キャンパス・ホスピタル再編事業」、「施設・設備の維持管理」、「教育研究環境の整備」、「ICT 教育研究基盤整備」の項目について、各々所管する会議・委員会等で点検・評価を行い、その結果を改善・向上に結びつけている。

## 第8章 教育研究等環境

## (5) 根拠資料

資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
1	大総務2-1	法人ホームページ 「各種方針」 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/policy.html">https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/policy.html</a>
2	大情8-1	順天堂大学 ICT 化戦略
3	大総務8-1	各学部・研究科の教育研究等環境整備方針
4	大研戦8-1	平成29年度 教育・研究装置及び教育基盤・研究設備一覧
5	大総務8-2	各学部・研究科の教育研究等環境整備概要
6	大情8-2	情報倫理ガイドライン
7	大情8-3	学校法人順天堂情報セキュリティポリシー
8	大情8-4	学校法人順天堂個人情報保護に関する基本方針
9	大情8-5	学校法人順天堂個人情報保護管理規程
10	大情8-6	情報システム利用に伴う危機対応マニュアル
11	大情8-7	順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス学術ネットワーク運営内規
12	大情8-8	順天堂大学ソーシャルメディア利用ガイドライン
13	大学メ8-1	本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター利用案内
14	大学メ8-2	さくらキャンパス学術メディアセンター利用案内
15	大学メ8-3	浦安キャンパス学術メディアセンター利用案内
16	大学メ8-4	三島キャンパス学術メディアセンター利用案内
17	大研戦8-2	大学としての研究に対する基本的な考え方
18	大IR6-1	平成29年度 学長教育改善プロジェクトの募集について
19	大革新8-1	順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究・治験センター管理運営規程
20	大革新8-2	順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程
21	大革新8-3	順天堂大学特定臨床研究監査委員会規程
22	大革新8-4	順天堂大学医学部附属順天堂医院における特定臨床研究等に関する病院長の業務に関する規程
23	大革新8-5	順天堂大学医学部附属順天堂医院特定臨床研究管理・評価委員会規程
24	大総務3-2	平成29年度 事業報告書
25	大研戦8-3	順天堂大学動物実験等管理規則
26	大研戦8-4	研究施設の概要 2017
27	大総務8-3	各学部・研究科の教育研究等を支援する取り組み
28	大研戦8-5	順天堂大学ティーチング・アシスタントに関する規程
29	大研戦8-6	大学・大学院ホームページ 「研究活動」 「研究戦略推進センター」 「URA」 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/university/research/jura/staff.html">https://www.juntendo.ac.jp/university/research/jura/staff.html</a>
30	大研戦8-7	順天堂大学における学術研究活動に係る行動規範
31	大研戦8-8	順天堂大学における学術研究活動に係る不正行為の防止等に関する規程
32	大研戦8-9	順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程
33	大研戦8-10	人を対象とする医学系研究に関する倫理規程

## 第8章 教育研究等環境

資料 No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
34	大研戦8-11	順天堂大学医学部研究等倫理要綱
35	大研戦8-12	順天堂大学医学部研究等倫理要綱実施規程
36	大研戦8-13	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱
37	大研戦8-14	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱実施規程
38	大研戦8-15	順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱
39	大研戦8-16	順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱実施規程
40	大研戦8-17	順天堂大学看護系大学院研究科及び学部に係る研究等に関する倫理委員会規程
41	大研戦8-18	順天堂大学医学部附属病院倫理委員会内規
42	大研戦8-19	順天堂大学研究倫理に係る教育・研修要領
43	大総務8-4	各学部・研究科における倫理に関する科目一覧
44	大院医8-1	順天堂大学大学院医学研究科・研究ガイドライン
45	大研戦8-20	研究環境の点検・評価
46	大研戦8-21	学長プロ研の波及効果概要（2010-2017）
47	大情8-9	第56回 情報センター本部コアメンバー会議（平成30年3月）
48	大総務8-5	各学部・研究科における教育研究等環境の点検・評価
49	大再編8-1	本郷・お茶の水キャンパス再編事業構想図
50	大再編8-2	本郷・お茶の水キャンパス延床面積の推移
51	大施設8-1	設備投資によるエネルギー使用合理化計画
52	大施設8-2	エネルギーの使用に係る原単位の推移
53	大施設8-3	平成30年度私立学校校舎等実態調査票
54	大革新8-6	臨床研究・治験センター運営委員会資料2018年2月臨床試験支援室
55	大情8-10	順天堂遠隔会議実施実績
56	大情8-11	ポータルサイト・ポータルフォリオシステム実績
57	大革新8-7	臨床研究支中核病院人員要件対応状況平成30年3月31日現在
58	大情8-12	医学部教授会資料ダウンロード手順書
59	大情8-13	JIN-CDB 構築